

令和 4 年 5 月 10 日現在

機関番号：11501

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2019～2021

課題番号：19K02776

研究課題名（和文）東北地方の洋楽受容と唱歌教育普及過程のデータベース構築と活用

研究課題名（英文）Construction of Database for the Reception of Western music and the History of Music education in Tohoku region

研究代表者

佐川 馨（SAGAWA, KAORU）

山形大学・地域教育文化学部・教授

研究者番号：40400519

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 1,700,000円

研究成果の概要（和文）：本研究の研究成果は、明治の洋楽黎明期から昭和初期の東北地方における洋楽受容と唱歌教育普及過程の史料収集とライブラリの設置、ライブラリを活用した教材開発と学校教育等への資料提供、ライブラリの資料を活用した大学等における授業実践である。各自治体所有の唱歌教育関連資料及び公文書等についてデータベース基礎資料を作成し、一定程度の成果が得られたものの、今後も継続して取り組んでいく必要がある。また研究を通して、東北地方の洋楽受容及び唱歌教育研究については、一層の研究の充実と発展が待たれる状況にあることが強く認識された。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究の学術的意義及び社会的意義は次の四点である。

東北地方における洋楽普及と関連する唱歌教育資料の収集とデータベースの構築による地域の音楽文化遺産の共有化と「地域の音楽素材」に着目した郷土学の推進。点在化している音楽教育の史的研究をつなぐ役割が期待され、日本の洋楽受容や唱歌教育普及にかかわる研究をこれまでとは異なる側面から探究できる。収集した資料の分析を通して地方における洋楽受容や唱歌教育普及過程を探求することにより、これまでの洋楽受容や唱歌教育研究の成果を補完できる。「地域の音楽素材」の教材性に着目した教材開発と実践によって地域の音楽文化遺産の継承が図られる。

研究成果の概要（英文）：The results of this research are as follows.

A library was set up on the acceptance of Western music and the development of music education in the Tohoku region from the Meiji era to the early Showa era. The historical materials and teaching materials in the library were used in school education. Classes were held at the university using the materials in the library. We created basic database materials for music education materials and official documents owned by each local government. Although the results have been achieved, it is necessary to continue working on it in the future. Through this research, we recognize that research on the spread of Western music and the development of music education in the Tohoku region is not sufficient. We recognize that it is necessary to further enhance and develop research in the future.

研究分野：音楽教育学

キーワード：唱歌教育 音楽教育 洋楽受容 地域素材

1. 研究開始当初の背景

申請者は、これまでの研究において「地域の音楽素材」の教材性に着目し、伝統音楽的素材（民謡、お囃子、わらべうたなど）、西洋音楽的素材（明治以降の地域関連の作曲家の音楽作品や著作など）、生涯音楽的素材（地域の特色ある文化施設や音楽活動、人材など）の三分類して教材開発をするとともに、開発した教材を用いた音楽科教員養成の試み（2012、『日本教育大学協会研究年報』第30集、55-66頁）社会教育向け教材の制作（2012、『秋田が生んだ音、音楽 先人の音の遺産を辿る』シンフォニックス）、市民向け解説付きコンサートの開催（2015～2018、『山形が生んだ音、音楽』）などに取り組んできた。

研究の結果、「地域の音楽素材」は親近感の高まりが楽曲の魅力や価値を好意的に受け入れようとする態度生成を促進し学習意欲が高まること、また学習意欲の高まりが音楽的諸能力の向上をもたらすこと、さらには音楽を媒介とした人々のつながりを生み出すこと、などの学校教育および社会教育の教材としての可能性を持つことを見出してきた。

これらの研究の過程で自治体の公文書や関連の資料を調査する機会があったが、紙媒体の資料の多くが自治体ごとの文書管理の規程により機械的に廃棄されるなど、保存状況は様々であった。また平成の市町村合併により公文書が散逸している例も少なくなかった。そこで本研究では、失われつつある洋楽受容や唱歌教育普及過程の資料をデジタル化して収集保存し、それらの有効な活用を検討することを通して地域の音楽文化遺産として継承することが音楽教育の史的研究を進める上での喫緊の課題の一つではないかと考えた。

日本の洋楽受容や音楽教育の史的研究については中央の視点から論じられることが多い。その要因の一つは、地方においては関連資料が適切かつ体系的に保存整理されていないことが挙げられるだろう。それらを整理してデータベースを構築する本研究の取り組みは、地域の音楽文化遺産の継承とともに地域の音楽素材に着目した研究と実践の充実に資することを目指そうとするものである。加えて、収集した資料の分析を通してこれまでの洋楽受容や唱歌教育研究の成果を補完することも期待できると考える。

2. 研究の目的

上記の背景およびこれまでの研究成果をもとに、本研究では、明治の洋楽黎明期から昭和初期の東北地方における洋楽受容と関連する唱歌教育普及過程の資料をデジタルデータ化してデータベースを構築し、地域の音楽文化遺産の継承と、地域の音楽素材に着目した研究・実践の充実に資することを目指す。

研究を進めるにあたっては三つの視点で資料を収集し、デジタルデータ化して保存・蓄積した上でデータベースを構築する。

- 視点1：各自治体の音楽教育関係の公文書
楽器の購入、人事記録、校歌の許認可など
- 視点2：地方新聞の音楽関係記事
一般記事、論説、広告など
- 視点3：音楽教育団体等の活動記録
会報、紀要、コンクール記録など

その上で、下記に示す（ ）～（ ）の三つの取り組みを通して地域の音楽文化遺産の継承と、地域の音楽素材に着目した研究と実践の充実に資することを目指す。

- ）デジタルデータ化した資料によるライブラリの設置
 - ・ウェブ(Web)上から資料の検索、閲覧ができるシステムの構築
- ）ライブラリを活用した研究者及び社会教育・学校教育への資料提供
 - ・研究者や社会教育・学校教育の担当者への必要に応じたレファレンス・サービス
 - ・学校教育については教材開発や授業実践をサポート
- ）ライブラリの資料を活用した教材開発と大学等における授業実践
 - ・学部や大学院における授業実践を通してライブラリ資料の活用と指導法を開発

3. 研究の方法

）明治の洋楽黎明期から昭和初期の東北地方における洋楽普及と関連する唱歌教育資料のデータベースの構築とデジタルライブラリの設置

- ・公文書等の資料は、楽器の購入、人事記録、校歌の許認可等の公文書について各自治体の公文書館に向いて取材調査をおこなう。
- ・地方新聞の音楽関連記事については新聞社ごとのデータベースを活用するとともに、データベース化されていないものについては、各自治体の図書館及び国会図書館のマイクロフィルム化された記事を調査する。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計3件（うち査読付論文 0件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 佐川 馨	4. 巻 5
2. 論文標題 東北の洋楽受容と唱歌教育普及過程のデータベース構築の試み（2）	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 生涯音楽学習実践学	6. 最初と最後の頁 11-23
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐川 馨	4. 巻 3
2. 論文標題 山形県民歌「最上川」制定の背景 教材開発のための基礎資料	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 生涯音楽学習実践学	6. 最初と最後の頁 9-18
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐川 馨	4. 巻 4
2. 論文標題 東北地方の洋楽受容と唱歌教育普及過程のデータベース構築の試み	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 生涯音楽学習実践学	6. 最初と最後の頁 17-25
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計0件

〔図書〕 計5件

1. 著者名 佐川馨ほか	4. 発行年 2021年
2. 出版社 教育出版	5. 総ページ数 152
3. 書名 高校音楽 Tutti+	

1. 著者名 佐川馨・三浦真理	4. 発行年 2021年
2. 出版社 フォスターミュージック	5. 総ページ数 22
3. 書名 大いなる秋田より「躍進」～秋田県民歌	

1. 著者名 佐川馨	4. 発行年 2021年
2. 出版社 フォスターミュージック	5. 総ページ数 16
3. 書名 さくら変奏曲	

1. 著者名 三浦真理・佐川馨	4. 発行年 2021年
2. 出版社 ロケットミュージック	5. 総ページ数 40
3. 書名 クラリネット三重奏のための「想い出は銀の笛」	

1. 著者名 佐川馨	4. 発行年 2021年
2. 出版社 フォーカラーズ	5. 総ページ数 -
3. 書名 山形の四季と日本の歌～春夏編～（動画）	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------